

報告第1号

石川県立あすなろ中学校設置基本計画

令和6年3月

石川県教育委員会

1 県立夜間中学の設置

令和4年7月、県教育委員会と各市町教育委員会による「公立夜間中学開設検討会」を設置し、第1回ニーズ調査により、本県においても一定のニーズがあることが把握できた。また、市町が設置する場合は、学校規模が小さく、生徒のニーズに応じた教育課程が編成しやすいものの、財政や教員確保の面で負担が大きいことから、全市町から県による設置が望ましいという意見を受け、県で設置することとした。

1. 設置主体及び設置形態

県が設置主体となり、北陸初となる県立夜間中学を単独校として設置する。

2. 開校時期

令和7年(2025年)4月

3. 設置場所

石川県立金沢中央高等学校【定時制課程：昼間制・夜間制】内3階・4階
(石川県金沢市泉本町6丁目105番地)

4. 概念及び理念

- 様々な理由により義務教育を修了できなかった方、不登校等のためにほとんど学校に通えなかった方、本国で義務教育を修了していない外国籍の方等が、中学校までの学習内容を学ぶことができる。
- 年齢・国籍・職業など、多様な方々が互いに尊重しあい、互いに存在を認め合い、安心して学ぶことができる。
- 自らの夢と希望の実現に向け、向上心を持って、新しいことにチャレンジできる。

5. 校名

石川県立あすなろ中学校

2 設置に係る基本方針

1. 対象生徒

- 県内在住で学齢期を経過した方または県内で働いている方のうち、原則以下のいずれかに該当し、入学を希望する方を対象とする。
 - ・ 様々な理由により義務教育を修了できなかった方
 - ・ 不登校等のためにほとんど学校に通えなかった方
 - ・ 本国で義務教育を修了していない外国籍の方

なお、学齢期の中学生で現在の中学校に籍を置いたまま通学を希望する生徒の受け入れについては、今後検討する。

2. 本人負担

- 授業料、教科書代は無償とする。
- 入学検定料、入学金は徴収しない。
- 教材費は、本人の実費負担とする。

3. 教育目標

【めざす学校像】

- ・ 学び直しの拠点として、多様な学習機会を提供できる学校
- ・ 年齢や国籍などに関係なく、生徒一人一人が生き生きと学び、自らの可能性を広げることができる学校
- ・ 生徒の夢や希望を実現させることができる学校

【めざす生徒像】

- ・ 自分の夢や希望の実現のため、向上心をもって新しいことにチャレンジできる生徒
- ・ あらゆる他者に対して、優しさや思いやりの心をもって接する心豊かな生徒
- ・ 目的達成に向け対等の立場で協力しあい、共に問題解決に向かうことができる生徒

【校訓】

「挑戦」…夢や希望の実現に向け、新しいことにも挑戦しよう

「敬愛」…年齢・国籍に関係なく、誰に対しても、優しさや思いやりの心を持とう

「協働」…互いに協力し合って、困難を乗り越える力を身に付けよう

4. 教育課程等

- 月曜日から金曜日までの週5日を授業日とし、1単位時間40分で1日あたり4時間授業を行う。(年間総時数を700時間程度とする。)
- 習熟度別の3コースと日本語の習得に重点を置いたコースの計4コース(予定)、昼間の中学校と同じすべての教科を行う。日本語の習得に重点を置いたコースは、授業理解に必要な日本語習得を目指し、国語の代わりに日本語の授業を週8時間程度行う。
- 授業時間は、17時45分頃～21時頃とする。
- 3学期制とし、夏休み等の休業期間を設ける。
- 授業は、複数の教員等で行う。
- 全生徒に一人一台端末を配備し、ICTを有効に活用した学びの実現を目指す。

5. 入学・進級・卒業等

- 入学は、入学者の審査に基づいて、校長が許可する。
- 原則として入学は1年生からとするが、入学者の希望等に応じて、2年生や3年生からの入学も可能とする。
- 修業年限は3年を基本とする。
- 4月入学を基本とするが、希望者の状況に応じて、随時受け入れを可能とする。
- 進級・卒業については、生徒本人の希望、学習状況及び在籍数等を踏まえ、校長が判断する。

6. 夕食の対応

給食は提供しない。食事をとる場所の提供は行う。

7. 今後の予定

学校運営に関する詳細については石川県教育委員会で検討し、決定する。
決まり次第、石川県教育委員会のホームページ等で公表する。

【令和6年度予定】

4月 学校案内リーフレット配布

5月 学校説明会(金沢・加賀・能登)

夏～秋頃 体験授業・入学説明会・生徒募集

秋～冬頃 面接・入学手続き